

## 柱5 人生100年時代の学び合い

### ■ 目標指標

指標		基準値	目標値 (令和7年度)
16	<b>生涯学習センター利用者数</b> 生涯学習センターの有料施設、図書室および情報検索用パソコンの利用者数の合計 *横須賀市「生涯学習」	126,974人 (令和元年度)	140,000人
17	<b>学習情報提供・学習相談件数</b> 生涯学習センターにおける学習相談で提供した学習情報の件数 *横須賀市「生涯学習」	8,279件 (令和元年度)	8,500件
18	<b>市民大学講座受講者アンケートの満足度</b> アンケート回答全体のうち80点以上の評価点を得た回答の割合 *「横須賀市市民大学講座のまとめ」用基礎データ	74.1% (令和元年度)	80.0%
19	<b>Yokosuka まなび情報の講師情報登録件数</b> 市内で学習活動をしているサークルや学習活動を支援する講師などの情報「Yokosuka まなび情報」に講師情報を登録した件数 *生涯学習センター「Yokosuka まなび情報」	219件 (令和元年度)	230件

※ 基準値は、新型コロナウイルス感染症の影響等により調査が実施できなかった場合や実績が例年と著しく異なる場合は、その影響がない年度の数値としています。

# 施策 11 子どもから高齢者まで年齢を問わず学べる機会の提供

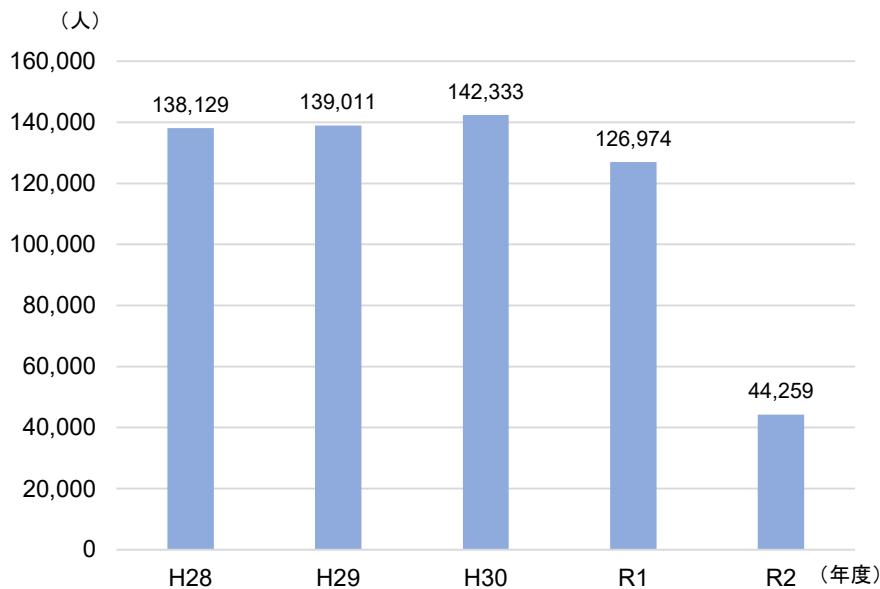
## 1 現状と課題

「人生 100 年時代」と言われている今、全ての人が生涯を通じて学び続け、知的好奇心に溢れた心豊かな生活を送ることができる社会が求められています。

本市では、生涯学習センターをはじめとする社会教育施設や身近な地域のコミュニティセンターにおいて、人々のさまざまな学びの要求に対応できるように、個人の要望から社会の要請に応える内容まで学びの機会を幅広く提供して市民の学習活動を支援していますが、コロナ禍を経た社会の変化を踏まえ、学びの形態も、人が一堂に会して行う学習だけではなく、離れた場所、離れた人ともつながりを持てるようにすることが必要です。

また、教育委員会だけでなく、市の各部局や地域の教育機関・研究機関等とも連携し、地域での教育力向上も目指しながら、より一層多様な学習機会を提供することが求められています。

【生涯学習センター利用者数】



※令和元年度、令和2年度の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるものです。

出典：横須賀市「生涯学習」

## 2 事業

<b>事業 60</b>	<b>社会教育・生涯学習の調査・計画（生涯学習課）</b>
概要	<p>社会教育行政の充実を図るため、「社会教育委員会議」を開催し、本市社会教育に関する計画や施策等についての意見や助言、提言等を受けるほか、社会教育行政や社会教育関係施設が取り組む事業計画や実績を報告し、社会教育に関する情報交換を行います。</p> <p>また、社会教育施設利用者の声や講座受講者アンケートなどを利用し、市民の生涯学習に関する意識や学習ニーズの調査を進めます。</p>

<b>事業 61</b>	<b>生涯学習センターにおける社会教育・生涯学習の推進（生涯学習課）</b>
概要	<p>市民の学習活動を支援するため、本市の生涯学習推進の拠点施設である生涯学習センターにおいて、学びの場の提供、市民大学、文化・生涯学習情報の収集提供、学習相談、学習成果の地域活用を実施し、多様な講座による仲間づくり、学習継続、学習成果の地域への還元等を支援するとともに、横須賀という郷土についての意識醸成を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学びの場の提供・市民大学           <p>自己の充実や生活向上に関する市民の多様な学習ニーズや解決すべき現代的課題、地域課題などに対応するため、市民大学等の多様な講座、子ども対象のジュニアカレッジなど幅広い世代に向けた講座や大学・研究機関などを活用した講座を実施します。</p> </li> <li>○ 文化・生涯学習の情報収集提供           <p>市民が主体的に学習活動を行えるように、講師、サークル、学習施設、講座・イベントなど、生涯学習や文化に関する情報の収集・提供を充実させます。</p> </li> <li>○ 学習相談           <p>学習上の問題の解決、主体的な学習を継続するにはどうすればよいか、何を学習したらよいかなど、相談者自らが答えを導き出すために学習相談員が助言します。</p> </li> </ul>

<b>事業 62</b>	<b>人権教育・啓発の推進（生涯学習課）</b>
概要	<p>人権に関する正しい認識と理解を深め、広く人権意識の高揚を図るため、講演会や講座の充実を図り、人権教育・啓発を推進します。</p>

<b>事業 63</b>	<b>学校施設等の開放（生涯学習課）</b>
概要	<p>社会教育の普及、青少年の健全な育成および公共公益活動を行うため、市立学校等の施設を、児童生徒の安全や学校教育に支障のない範囲において地域団体に開放します。</p>

事業 64	社会教育施設の連携・職員の資質向上（生涯学習課 中央図書館 博物館運営課 美術館運営課ほか）
概要	<p>社会教育職員の資質向上を図るため、研修や外部機関との交流等を行います。</p> <p>また、生涯学習センター、図書館、博物館、美術館、コミュニティセンターのネットワークを強化し、連携した事業展開と市民への広報・情報発信に取り組みます。</p>



市民大学の様子



生涯学習センターでの研修会の様子

## 施策 12 学びの成果を生かせる場の充実

### 1 現状と課題

学びによって得た知識や技能等を、個人の生活の充実のほかに、どこかで、何かに生かしたいという思いがあっても、どこでどのようにしたら生かすことができるのか、その具体的な機会を得ることは簡単ではありません。

人々が、学んだ成果を自らの能力向上に生かすだけでなく、自らが講師となって学んだ成果を広めたり、学んだ仲間と活動したり、地域に学びの成果を生かすための場をともに考え、支援していきます。

【Yokosuka まなび情報の講師情報登録件数】



出典：Yokosuka まなび情報

### 2 事業

事業 65	学習成果の地域での活用（生涯学習課）
概要	<p>市民が学んだことを生かし、地域活動へと結びつけていくことを目指した学習機会の提供を行います。学習で身に付けた知識や技術を地域に生かし、自らが講師となって講座の企画運営を行うなど、主体的に活動するために学習相談等による支援や、その活動の継続を推進するためのスキルアップ講座を行います。</p> <p>生涯学習センターやコミュニティセンター等その成果を発揮する場の提供を行い、市民が活躍する生涯学習社会の実現を目指します。</p>